

ICTを活用した現任校実習モデル

資料14

ICTの活用や専用コミュニティサイトの構築により、遠方の学校（現任校）との情報共有や遠隔指導等を充実させます。

学内におけるICT活用技能

・実践力向上指導



和歌山大学教職大学院



教育委員会・教育センター等
関係諸機関との連携



専用コミュニティサイト

日常的な情報共有

指導案・ワークシート、板書・授業記録、指導計画、
学校評価項目などの情報を共有して相互指導を実施

Video Conferenceによる
遠隔指導・協議

授業・協議・校内研修・会議等の
ライブ中継・配信・蓄積

現任校
(小学校)

現任校
(中学校)

校内でのICT活用

授業記録の蓄積・振り返り・情報共有・発信等

1

訪問指導を主体として オンライン指導との相乗効果を見込む

和歌山大学

現任校への「訪問指導」を主軸に、オンライン指導を組み合わせ、シームレスな指導の補完体制を実現する。

校内でのネットワーク状況や機器の整備に左右されないよう、大学側が全面バックアップ。



現任校

和歌山大学教育学部では、早期からTV会議システムを用いて、学校現場や各研修施設をつないで交流事業をおこなってきた。ネットワーク回線の状況を見極め、最適なシステムを整備し、安定した交流がおこなえるように配慮します。

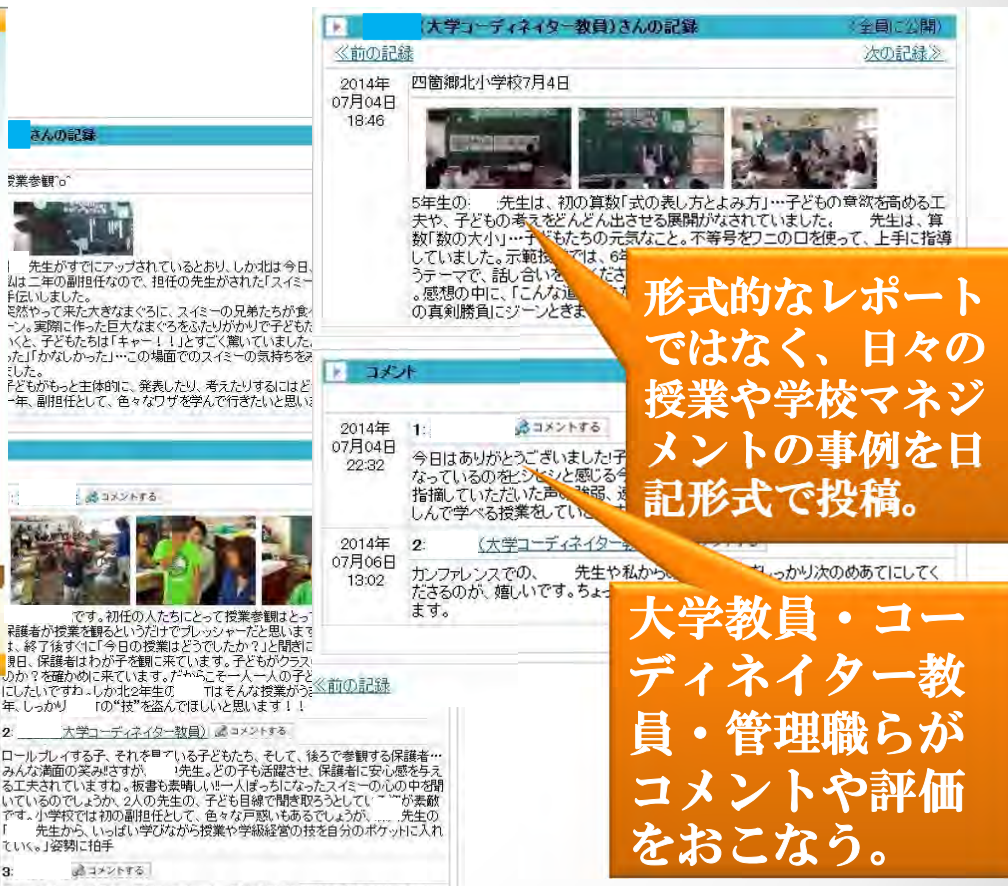
専用SNS「Teachers コミュニット」による授業記録の交流及び学校マネジメントに関する情報共有



Teachers Communication Net.
Faculty of Education, Wakayama-University

ログイン ID
パスワード
次回から自動的にログイン
ログイン

受講者及び大学教員、学校管理職らが1つのネットワークコミュニティを形成。



さんの記録

授業参観

先生がすでにアップされているとおり、しかも今日は、私は二年の副担任なので、担任の先生がされた「スミエ」を伝えました。

5年生の：先生は、初の算数「式の表し方とよみ方」…子どもの意欲を高める工夫や、子どもの考えをどんどん出させる展開がなされていました。先生は、算数「数の大小」…子どもたちの元気なこと。不等号をフニの口を使って、上手に指導していました。示範授業では、6年生の「図形と測量」で、話し合いを促すための問いかけが、子どもたちの思考を深めるのに効果的でした。感想の中に、「こんな授業の真実勝負にシーンとときどき」

形式的なレポートではなく、日々の授業や学校マネジメントの事例を日記形式で投稿。

大学教員・コーディネイター教員・管理職らがコメントや評価をおこなう。

2014年 07月04日 18:46

四箇郷北小学校7月4日

5年生の：先生は、初の算数「式の表し方とよみ方」…子どもの意欲を高める工夫や、子どもの考えをどんどん出させる展開がなされていました。先生は、算数「数の大小」…子どもたちの元気なこと。不等号をフニの口を使って、上手に指導していました。示範授業では、6年生の「図形と測量」で、話し合いを促すための問いかけが、子どもたちの思考を深めるのに効果的でした。感想の中に、「こんな授業の真実勝負にシーンとときどき」

コメント

2014年 07月04日 22:32

1: 今日ありがとうございました! 子になっているのをとても感じています。指導していただいた声、感謝、そして学べる授業をしていただき、ありがとうございます。

2014年 07月06日 13:02

2: 《大学コーディネイター教員》

カンファレンスでの、先生や私から、しっかりと次のめあてにしてくださるのが、嬉しいです。ありがとうございます。

2014年 06月22日 08:21

2: 《大学コーディネイター教員》

ロールプレイする子、それを見ている子どもたち、そして、後ろで参観する保護者…みんな満面の笑みですが、先生、どの子も活躍させ、保護者に安心感を与える工夫されていますね。板書も素晴らしい! 一人ぼっちだったスミエの心の中を聞いているのでしょうか、2人の先生の、子ども目線で聞き取ろうとして、…? 来校です。小学校では初の副担任として、色々な戸惑いもあると思いますが、先生の「先生から、いっぱい学校の授業や学級経営の技を自分のポケットに入れていく。」姿勢に拍手

2014年 06月23日

3: 《大学コーディネイター教員》

当システムは、平成25・26年度「初任者研修高度化事業」においての稼働実績があります。大学への登校時と現任校での活動をつなぐ役割を果たしています。フォーマルな研究の枠組みではなく、日常的な情報交換・共有を目的としています。

教職大学院講義の配信による「反転学習」の充実

- 講義形式でおこなわれる専門科目のうち、オンライン形式で校内・自宅にて受講可能なパートを設ける。
- 県内学校にIDを発行。体験視聴も可能。資料や確認問題などもオンラインにて提供。「学び続ける教師」を支援します。

PCをはじめ、iPadなどモバイル端末による受講も可能。

1パート45分として設定し、受講者の学習ペースで進めることができます。



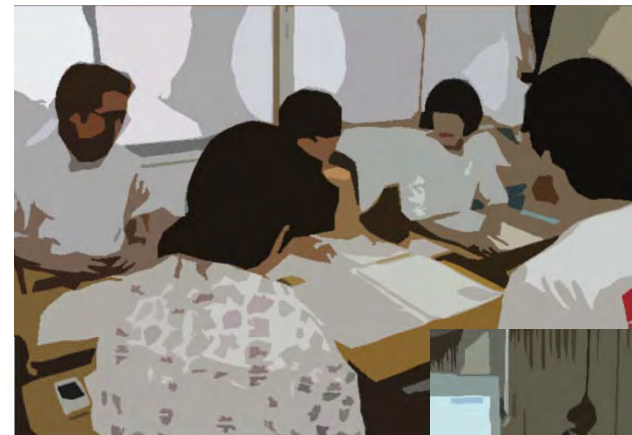
一般の学校にも広く公開し、自主的に学ぶ機会を提供する。

和歌山大学の教員による講義のため、質問や感想などは、直接大学で話すことが可能。

和歌山大学教育学部には、平成17年度から県内向けにe-learningを利用した防災教育に関する講義配信の実績があります。そのノウハウを活かし、対面とオンライン講義を組み合わせた学習・研究が充実できるよう、円滑な運用を目指します。

授業・研修等の映像の蓄積と分析

- 授業映像による授業分析手法のレクチャー、研修や研究協議等の収録によるマネジメント指南等の実施。



具体的な授業映像や研修・研究協議等の映像を元に検討をおこない、より教育現場に即した指導法やマネジメント等の力量を伸ばします。



ICT活用技能の指導体制

- ICTを用いた各種コミュニケーションツールの校内整備およびその活用技能の向上については、教職大学院が全面的にサポート。

教職大学院

現任校



情報機器
活用指導

ICTを活用した
実践的指導
(模擬授業教室)

大学との円滑な情報
共有を進める校内の
ICT環境の構築

児童生徒の個人情報扱いや
各種校内情報の取り扱い関しても
専用のガイドライン・セキュリティポリシーを適用